

# 国体記事熱気を実感

## 木田小3年生、切り抜き発表



福井しあわせ元気国体  
 ・大会(全国障害者スポーツ大会「障スポ」)の新聞記事を活用したNIE(教育に新聞を)の授業が6日、福井市木田小で行われた。児童は開会式や競技の記事で作った「切り抜き新聞」を紹介。国体、障スポをさまざまな視点から振り返り、郷土愛を深めた。

3年生の児童33人が道徳の授業の一環で取り組み、中谷幸子教諭が担当



福井国体・障スポの記事で作った切り抜き新聞を紹介する児童＝6日、福井市木田小

した。児童たちは国体期間中から興味ある記事を集め、切り抜き新聞にまとめた。

この日は3人1組で、記事を選んだ理由などを中心に説明しながら新聞を紹介した。「雨でもみんな笑顔だった所が良いと思っ」と発表した児童は、

開会式の記事を集め「雨に負けない最高の笑顔」と見出しを付けた。他に「あきらめない心」をテーマに逆転勝ちした競技の記事を集めるなど、さまざまな視点で作った新聞があり、児童は発表を熱心に聞き、質問したり感想を言い合ったりした。

最後は福井国体・障スポを自分なりの言葉でまとめて発表。「福井国体で生きる、僕たちのあきらめない気持ち!」「勝つてうれしい、負けたら次! 福井国体」など、それぞれの言葉で振り返った。

陸上競技を観戦したという鹿島悠之介君は「大会名にもあるように、福井しあわせ、元気でいい所だなと思った。50年後もまた国体を見てみたい」と話していた。

(守長奈生佳)